

治験管理室レター

2022年1月発行 第26号



テーマ：治験の取組

① 治験研修会が行われました。

2021年10月22日に研修医・新任医師を対象とした治験研修会が開かれました。「治験とは」をテーマに最近の治験の動向や治験に関わる医師・看護師等の業務について説明し、治験の啓蒙活動を行いました。

また、年度末には関連診療科の病棟及び外来向けに治験勉強会を開催する予定です。



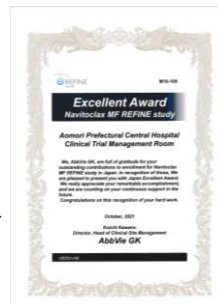
県病アカデミーに載せてるので見てね！



② 治験の取り組みが表彰されました。

当院で現在行われている治験（血液内科）で参加した被験者数が国内で1番多かったため、関わった医師及び治験管理室宛に治験依頼者（アッヴィ合同株式会社）から表彰状が届きました。治験管理室では、CRC（治験コーディネーター）と医師のみでなく、事務局や医療情報部も関わることで被験者組み入れを促しています。

今後も治験の組み入れ促進のために様々な取り組みを行っていきます。



表彰状

③ 当院で行った治験薬が医薬品として承認されました。

1. タズベリク錠（タゼメトスタット）

対象疾患：再発又は難治性EZH2遺伝子変異陽性の濾胞性リンパ腫
関連診療科：血液内科

2. ピヴラッツ点滴静注（クラゾセンタンナトリウム）※薬食審一部会のみ

対象疾患：脳動脈瘤によるくも膜下出血術後の脳血管攣縮、及びこれに伴う脳梗塞及び脳虚血症状の発症抑制
関連診療科：神経内科

3. ユプリズナ点滴静注（イネビリズマブ）

対象疾患：視神経脊髄炎スペクトラム障害（視神経脊髄炎を含む）の再発予防
関連診療科：神経内科

青森県立中央病院 治験管理室

TEL：017（726）8394

中畑（事務局） 野呂（CRC）